

フレームワークの作成

- フレームワークの作成
- フレームワークを使って思考する（1）
- フレームワークを使って思考する（2）
- 豊富なアイデアの創出
- 既存のフレームワークいろいろ
- フレームワーク思考とは
- トップダウンアプローチとボトムアップアプローチ
- フレームワーク作成の要点まとめ
- 小演習1
- 小演習2

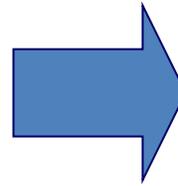
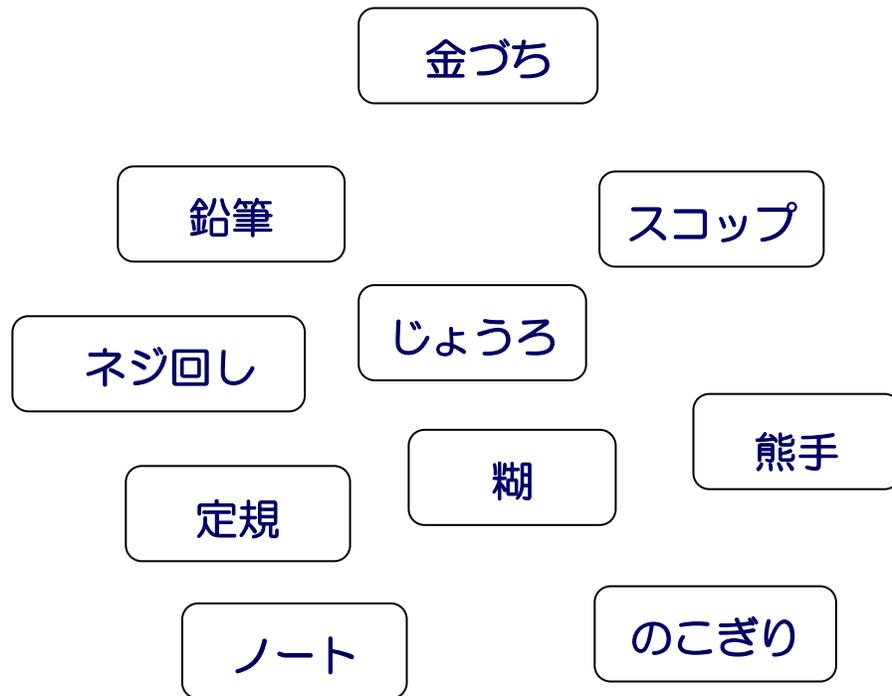
フレームワークの作成について、より深く学習するには、論理思考講座、「第4章 論理ツリーに展開して活用する 4.3 フレームワークを活用して思考する (<https://www.ltkensyu.com/logicalthinking/1-4/4-7#link47>) 」をご参照ください。

フレームワークの作成

目的に合わせて情報を整理・展開したロジックツリーの枠組みをフレームワークと呼ぶ

フレームワーク作成例

10種類の日用品

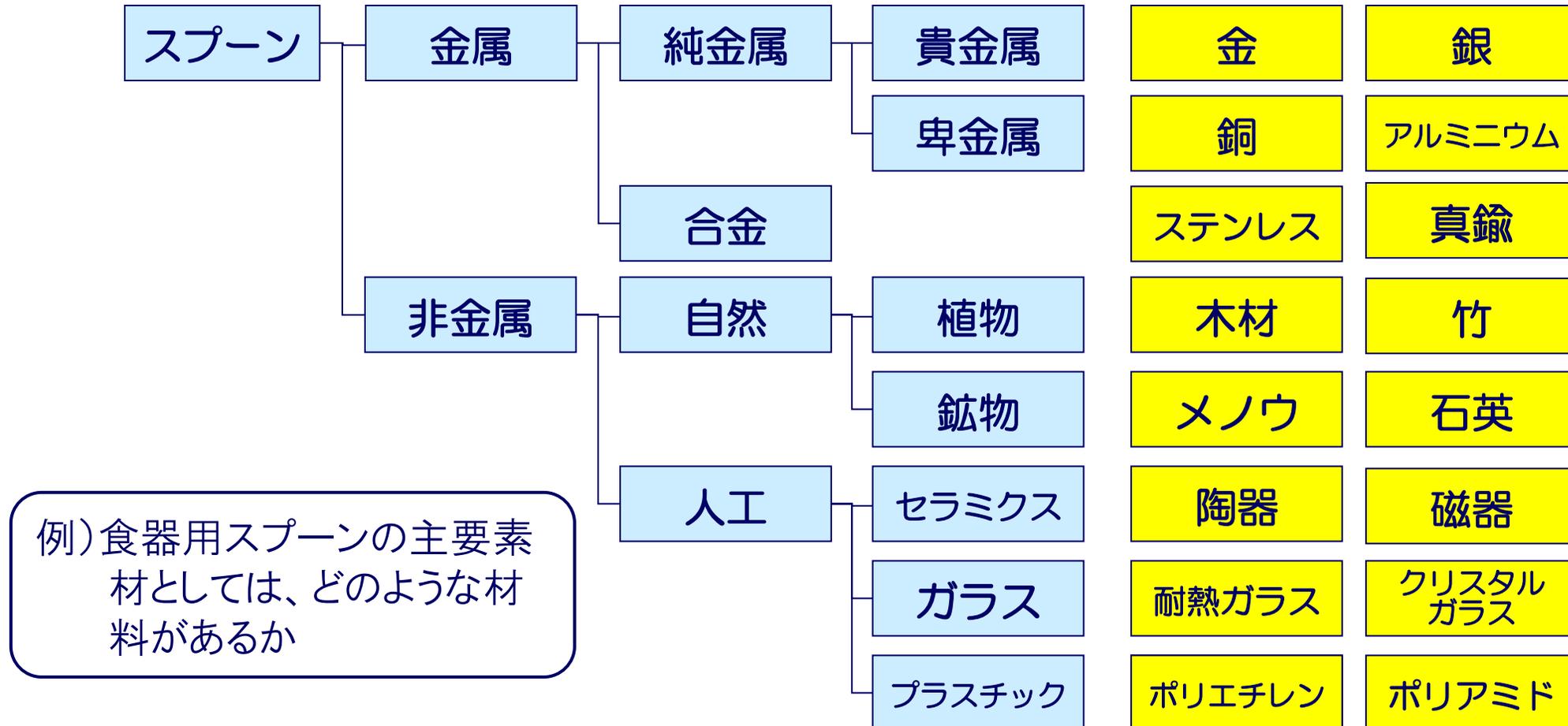


用途で整理する



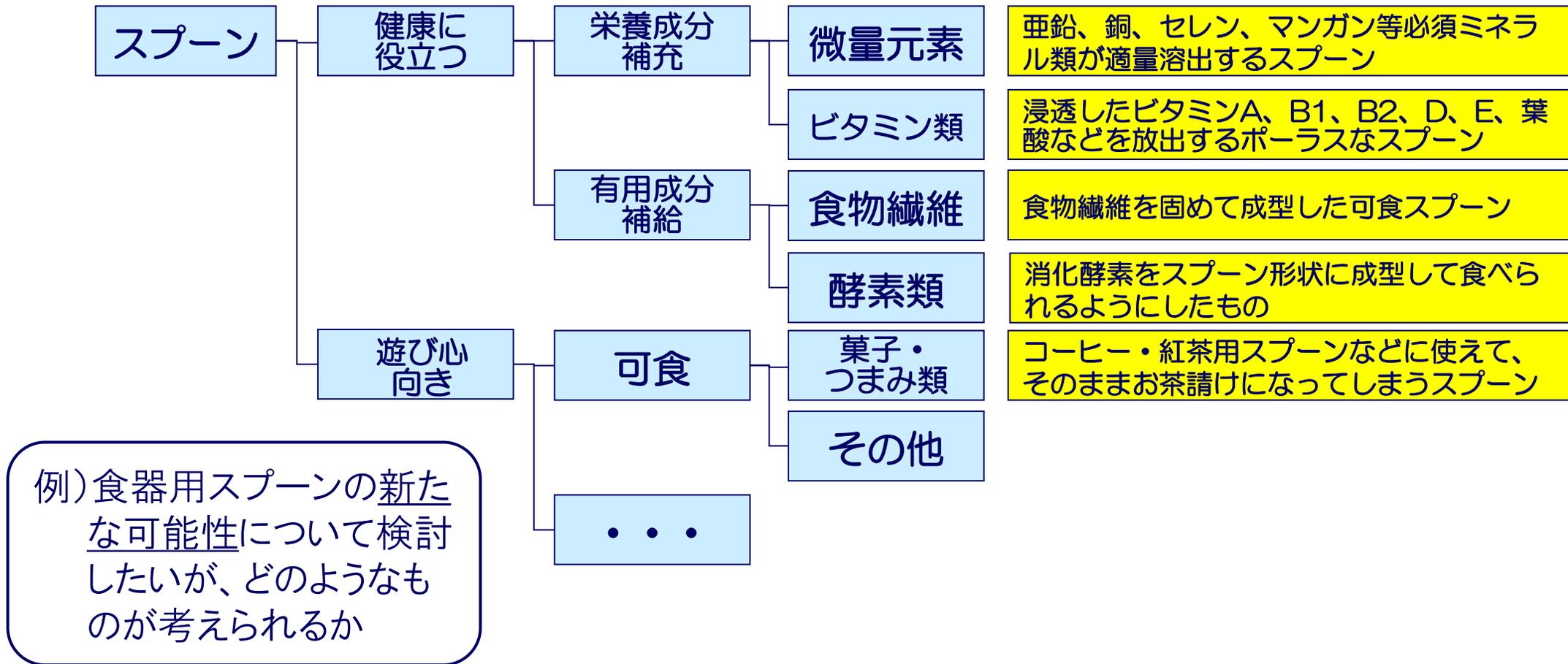
フレームワークを使って思考する（1）

適切なフレームワークを作成すると、思考のための枠組みが明示されるので、アイデア創出が容易になる



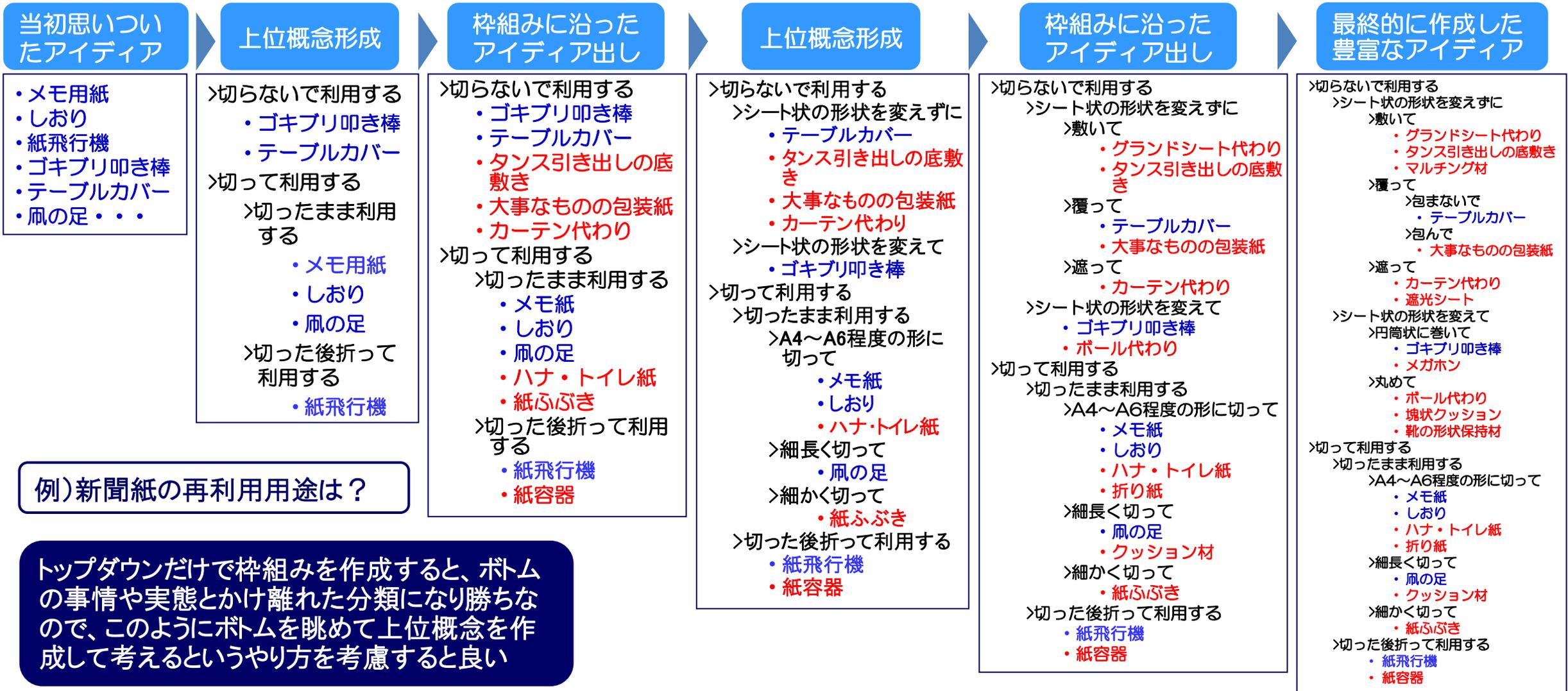
フレームワークを使って思考する（2）

目的に合わせたユニークな枠組みのフレームワークは、新しい事柄の発想に役立ち、創造的なアイデア創出を支援する



豊富なアイデアの創出

当初、思いついたアイデアが貧弱であっても、上位概念形成・アイデア発想・上位概念形成・アイデア発想・・・と繰り返すことによって、豊富なアイデアを創出することができる



当初思いついたアイデア

- ・メモ用紙
- ・しおり
- ・紙飛行機
- ・ゴキブリ叩き棒
- ・テーブルカバー
- ・風の足・・・

上位概念形成

- >切らないで利用する
 - ・ゴキブリ叩き棒
 - ・テーブルカバー
- >切って利用する
 - >切ったまま利用する
 - ・メモ用紙
 - ・しおり
 - ・風の足
 - >切った後折って利用する
 - ・紙飛行機

枠組みに沿ったアイデア出し

- >切らないで利用する
 - ・ゴキブリ叩き棒
 - ・テーブルカバー
 - ・タンス引き出しの底敷き
 - ・大事なものの包装紙
 - ・カーテン代わり
- >切って利用する
 - >切ったまま利用する
 - ・メモ紙
 - ・しおり
 - ・風の足
 - ・ハナ・トイレ紙
 - ・紙ふぶき
 - >切った後折って利用する
 - ・紙飛行機
 - ・紙容器

上位概念形成

- >切らないで利用する
 - >シート状の形状を変えずに
 - ・テーブルカバー
 - ・タンス引き出しの底敷き
 - ・大事なものの包装紙
 - ・カーテン代わり
 - >シート状の形状を変えて
 - ・ゴキブリ叩き棒
- >切って利用する
 - >切ったまま利用する
 - >A4～A6程度の形に切って
 - ・メモ紙
 - ・しおり
 - ・ハナ・トイレ紙
 - >細長く切って
 - ・風の足
 - >細かく切って
 - ・紙ふぶき
 - >切った後折って利用する
 - ・紙飛行機
 - ・紙容器

枠組みに沿ったアイデア出し

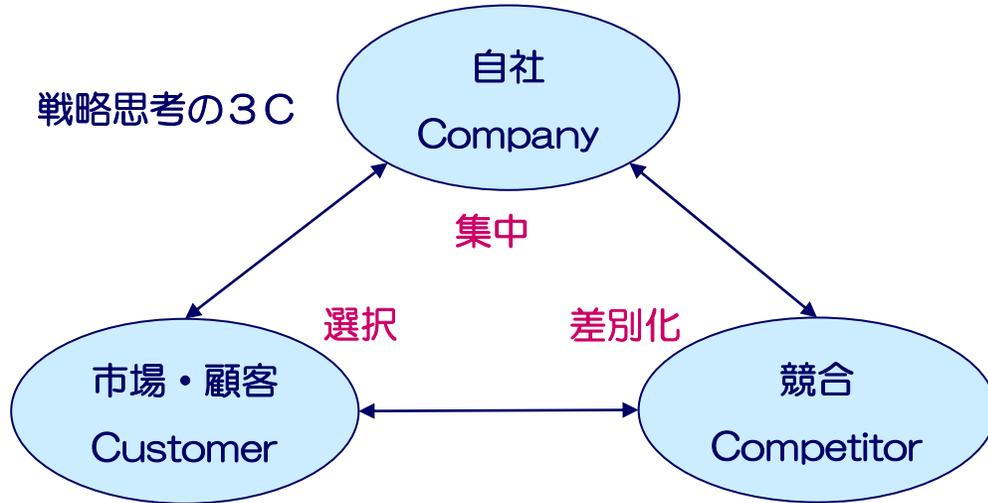
- >切らないで利用する
 - >シート状の形状を変えずに
 - >敷いて
 - ・グランドシート代わり
 - ・タンス引き出しの底敷き
 - >覆って
 - ・テーブルカバー
 - ・大事なものの包装紙
 - >遮って
 - ・カーテン代わり
 - >シート状の形状を変えて
 - ・ゴキブリ叩き棒
 - ・ボール代わり
- >切って利用する
 - >切ったまま利用する
 - >A4～A6程度の形に切って
 - ・メモ紙
 - ・しおり
 - ・ハナ・トイレ紙
 - ・折り紙
 - >細長く切って
 - ・風の足
 - ・クッション材
 - >細かく切って
 - ・紙ふぶき
 - >切った後折って利用する
 - ・紙飛行機
 - ・紙容器

最終的に作成した豊富なアイデア

- >切らないで利用する
 - >シート状の形状を変えずに
 - >敷いて
 - ・グランドシート代わり
 - ・タンス引き出しの底敷き
 - ・マルチング材
 - >覆って
 - >包まないで
 - ・テーブルカバー
 - >包んで
 - ・大事なものの包装紙
 - >遮って
 - ・カーテン代わり
 - ・遮光シート
 - >シート状の形状を変えて
 - >円筒状に巻いて
 - ・ゴキブリ叩き棒
 - ・メガホン
 - >丸めて
 - ・ボール代わり
 - ・塊状クッション
 - ・靴の形状保持材
- >切って利用する
 - >切ったまま利用する
 - >A4～A6程度の形に切って
 - ・メモ紙
 - ・しおり
 - ・ハナ・トイレ紙
 - ・折り紙
 - >細長く切って
 - ・風の足
 - ・クッション材
 - >細かく切って
 - ・紙ふぶき
 - >切った後折って利用する
 - ・紙飛行機
 - ・紙容器

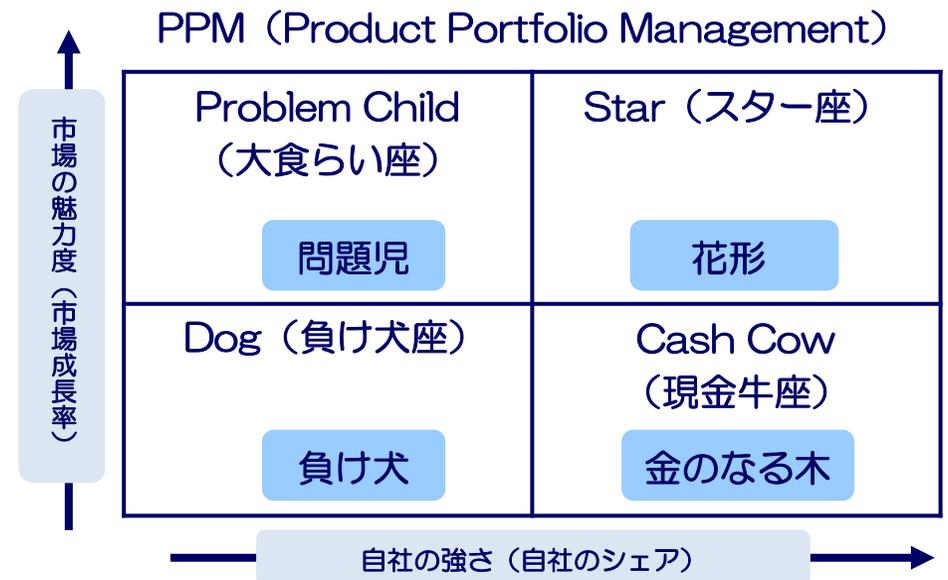
既存のフレームワークいろいろ

ビジネス・フレームワークにはいくつか便利なものがある



SWOT分析	機会 (Opportunities)	脅威 (Threats)
強み (Strengths)		
弱み (Weaknesses)		

マーケティングの4P	
Product (商品・サービス)	
Price (価格)	
Place (流通チャネル)	
Promotion (販促・PR等)	



フレームワーク思考とは

ロジックツリー展開により、適切な枠組みを作成して全体像を把握し、思考の質を上げ、漏れなく考える方法である

どのようなときに使うか：

何を検討すれば意思決定できるのか、どのような情報を収集すべきか、情報をどのように整理・分析すべきか、いかなる可能性があるか、などの検討場面

例) 問題解決において

本質的問題の発見 (分析)

収集情報の分析と結果の整理により、全体像を明らかにする

問題・原因の展開により、本質的問題・原因を絞り込む

枠組み設定とアイデア出し

課題解決策の検討において、複数の解決策代替案を提供する

適切な枠組みの設定により、創造的解決策の創出を支援する

トップダウンアプローチとボトムアップアプローチ

フレームワークを作成する場合、トップダウンアプローチとボトムアップアプローチがあり、目的に応じて使い分ける、あるいは両方を使いアップダウン、ダウンアップすると良い

トップダウンアプローチ

- 初めから、枠組みが与えられている場合
 - 既存のフレームワークが存在する
- 容易に枠組み（と適切な切り口）が考えられる場合
- 内容にダブりが生じないように注意を払う必要がある

ボトムアップアプローチ

- 枠組みが明確でなく、初めから、具体的な事象や命題が多く存在する場合
- 枠組み（と適切な切り口）が容易に考えられない場合
- モレがないことには注意を払う必要がある

異なるものどうしの中に多様な共通するものを見出すことが、フレームワーク作成の本質である

フレームワーク作成の要点まとめ

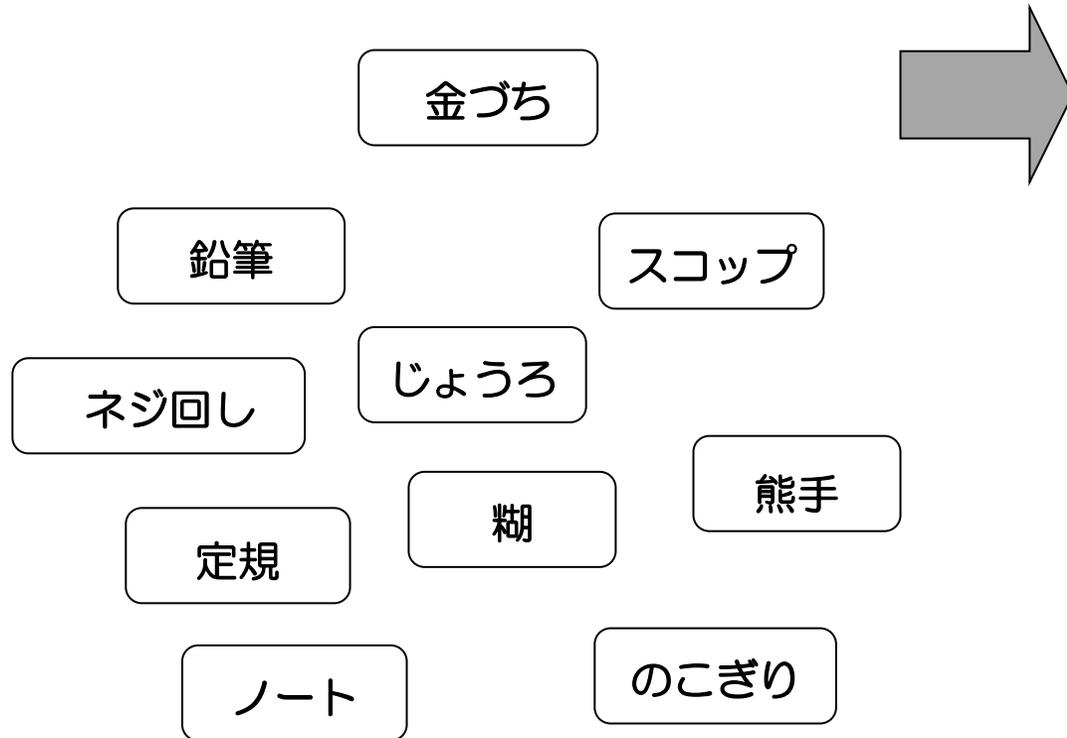
フレームワークは用途に合わせ目的を明確にし、目的達成を志向した切り口で分解し、各階層は次元をそろえて、MECEに(ミッシー:ダブリなく、モレなく)作成する

1. フレームワークは全体観を持ち、モレやダブリがないよう (MECE) に作成する
 - モレやダブリをなくすには、相対するものや、時間の流れで考えてみると良い
2. フレームワークは同一階層内では抽象度の次元 (レベル) を合わせる
3. フレームワークは論理的に正しくとも、目的に合致した切り口でなければ使えない
4. フレームワークは基本的には主観的な軸で括らない
5. フレームワークの軸は5つ以内におさえ、それ以上の場合は括りなおす
 - 適切な上位概念を考える

小演習 1：フレームワークの作成

下記10種の日用品について、「用途で分類する」以外の方法で、フレームワークを作成し、新たな日用品を5種類追加しなさい。ただし、各日用品については、自分の常識的な知見範囲で自由に定義して良い。

10種類の日用品



小演習 2：フレームワークの作成

下記の「食器用スプーンの主要材料」について検討したフレームワークには、「鉄製ホーロー引きスプーン」が登場しないと考えられるが、何故か、また、それが登場しやすくするにはどのように変更すれば良いか。

